

施工方法

1. 下地の補修、清掃
 - 発泡プラスチック表面のホコリや汚れを清掃する。
 - 発泡プラスチックに欠損がある場合は、予めマノールカチオン基礎モルタルで補修する。
2. マノールカチオン基礎モルタルの混練り
 - (練り方)に従って、マノールカチオン基礎モルタルを練る。
3. マノールカチオン基礎モルタルの下塗り
 - 発泡プラスチックとの密着を良くするため、十分にコテ圧をかけながら、2mm厚でマノールカチオン基礎モルタルを塗り付け、追いかけて平坦にならず。
4. CSネット2の貼り付け
 - 追いかけてCSネット2(耐アルカリネット)を貼り付け、コテで押さえ込む。CSネット2との隙間ができないように、端部は10cm程度重ねて貼り付ける。
5. マノールカチオン基礎モルタルの仕上げ塗り
 - 仕上げ塗りとして2mm厚でマノールカチオン基礎モルタルを塗る。
※時間を置きすぎると塗りにくくなるので注意する。
6. 刷毛引き
 - 仕上げ塗りした後、30分以内に空刷毛を通す。

使用上の注意

- 下地が、アルミニウム、ステンレス、ポリエステル、FRP、亜鉛メッキ及び軟質下地面等の場合は、十分な接着力が得られませんので使用を避けてください。
- 下地のレイタンス、ゴミ、油類等は完全に除去、清掃し前日に水洗いしてください。
- 練り置き後の使用は避けてください。
- 気温が5℃以下での使用は避けてください。
- 1回の塗り厚は3mm以内にしてください。



本 社 〒142-0043 東京都品川区二葉1-18-8 TEL:03-3787-1131
東北支店 〒960-8075 福島市下野寺字遠原3-2 TEL:024-591-1131
盛岡営業所 〒020-0122 盛岡市みたけ2-1-17 TEL:019-641-1131
大阪営業所 〒535-0005 大阪市旭区赤川2-1-26 TEL:06-6927-3132

特約店

豊かな実績・確かな信頼
Manol

基礎断熱用プレミックスポリマーセメントモルタル

マノール カチオン基礎モルタル

<カチオン基礎パウダー基礎断熱工法用>



マノール カチオン基礎モルタル

<カチオン基礎パウダー基礎断熱工法用>

用途

基礎断熱工法(発泡プラスチック)に対する下地作り用。

特徴

- コテ伸びコテ滑りが良く作業性に優れています。
- 特殊繊維(ビニロンファイバー他)の効果でクラックが入り難いです。
- 耐水性に優れていますので防水・防湿箇所にも有効です。
- 再乳化性粉末樹脂を配合した一材型で簡単に使用できます。
- 耐久性に優れた再乳化性粉末樹脂により優れた接着性を持っています。

標準仕様

名称	マノールカチオン基礎モルタル	
正味質量	20kg/袋	練り上がり量 約13ℓ
標準加水量	3.0kg/袋	
標準塗り厚	4mm	
標準使用量	約3.25㎡/袋	
可使時間(20℃)	60分以内	
梱包単位	1袋	

練り方

粉体1袋(20kg)に対して所定の調合比の水を入れ、全体が均一になるように隅々までよく練り合わせる。

●調合比とフロー値

粉体(kg)	水(kg)	フロー値
20kg	3kg	170mm

基礎断熱工法

